

音楽教育 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	心うごく瞬間(とき)をもとめて ～音楽的な見方・考え方を働かせ、表現する力を育む指導の在り方～ ○音楽の楽しさを体感できる授業で実践したい打楽器指導法を学ぶ研修	
日時	令和8年6月30日(火)	
会場	千歳市立みどり台小学校	
講師	山本 晶子 氏 (打楽器奏者、パーカッショングループ「フラワービート」代表、青山学院大学非常勤講師、 洗足学園音楽大学非常勤講師、常葉大学非常勤講師)	
参加者	47名	
研修会 の 様子		0. 講師紹介 1. 児童への授業①～打楽器紹介 シロフォン、ビブラフォン、ボンゴ、コンガ、タンバリン、カスタネット、ウインドチャイム等の様々な打楽器を実際に演奏しながら紹介していただいた。圧巻の表現力で、たとえ小物打楽器でも、複数の奏法があり、その奥深さを間近で感じることができた。
		2. 児童への授業②～体や道具を使ったリズム打ち 授業の後半では、児童らに紙やカスタネットを持たせ、複数の奏法を教えていただいた。たたく場所や指の使い方等を変えるとといった少しの工夫で様々な音が楽しめること、タイミングやリズムの組み合わせで無限に面白さが広がることを体感し、まさに「児童の心うごく瞬間」を見ることができた。
		3. 実技研修会① 打楽器指導法 プレゼンテーションを用いて、小物打楽器の演奏法を、実際に参加者が音を鳴らしながら、細かく教えていただいた。音楽の教科書に掲載されている曲を活用しながら教わった演奏法を実践し、打楽器ならではの気軽さと、その多様な表現に、どんな人でも心から楽しめることを実感した。
		4. 実技研修会② 器楽合奏・質疑応答 ルパン三世のテーマを器楽演奏し、合奏指導していただいた。参加者全員が楽器を1つ担当し、練習した後、合奏した。役割が同じ楽器群で合わせたり、リズムの決め所になる重要な楽器群をぬきだして合わせたりと、ポイントをおさえた大変わかりやすい指導をしていただいたおかげで、短時間とは思えない素晴らしい演奏が仕上がった。 最後まで、参加者の笑顔が絶えない充実感のある研修会であった。